

令和元年秋期 金沢南部地区推進連絡会

1 日時

令和元年 11 月 21 日(木) 18 時 00 分～19 時 30 分

2 場所

金沢町町内会館

3 参加者 人

(地域側) 自治会等地域団体関係	29 人
学校関係 (文庫小、金沢中)	2 人
消防団	3 人
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	11 人
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	5 人

4 「住み慣れた地域で いつまでも元気に暮らし続けるために」

資料に沿って、國原区長から説明。

- ・平均寿命と健康寿命に開きがある。この差を無くしていけると良い。
- ・認知症がクローズアップされているが、介護保険の認定要因第 1 位は転倒・骨折。第 2 位は脳血管疾患。健康であることが大切。
- ・介護予防のために、ウォーキング等体を動かすのが良い。
- ・社会活動等への参加は元気の秘訣。金沢区自治会町内会等地域役員の主観的健康観で「健康である」と感じている人の割合 90%以上。一般の方に比べ 10%程度高い。
- ・幸福と感じている人の割合が金沢区は市内第 1 位！

5 グループワーク「台風 15 号・19 号の被害について」

【金沢町】

(事前情報から、準備したこと)

- ・自転車が倒れないよう横にし、物干し竿を降ろし、植木鉢を片付けた。
- ・養生テープを窓に貼った。(売り切れていた。)
- ・吸水型土のう袋を用意した。

(台風 15 号・19 号で、どのような影響があったか)

- ・バス通りの脇の大きな木が歩道側に折れていた。
- ・住宅工事現場の防塵カバーが飛んで電線に引っかかっていた。
- ・選挙ポスターがボードごと遠くから飛んできた。
- ・雨水枡が葉っぱで詰まって道路が水浸したが、冠水まではいかなかった。
- ・複数あった側溝が通行の邪魔になるからと埋め立てられ、山から流れてくる水の通り道が無くなってしまい道路を流れていた。
- ・昔は土木事務所が側溝の葉っぱを集める収容容器を配って各所に配置していたため、近隣住民が自発的に集めてくれていた。
- ・庭木が倒木し窓ガラスが割れた。
- ・木の枝がそこら中で折れ、散乱していた。

- ・屋根瓦が 15 枚くらい飛んできた。
(誰かの助けが必要だったか。または必要な人は近くにいたか。)
- ・SOS はなかった。
- ・台風 19 号の時は消防配備の指令が出て、金沢町、寺前 1、2 丁目を車で巡回した。
(災害時の見守りには、どのような取組が必要か。)
- ・避難アナウンスが必要。
- ・近隣への声掛けを当たり前のように皆がやっていた。
- ・帰宅しても不安なのか 3. 11 の時は会合中だったこともあり町内会館から皆が帰らなかった。
- ・台風通過後、民生委員・児童委員が見守りに回った。
- ・風水害時の避難場所がないことが心配。

【寺前東】

(事前情報から、準備したこと)

- ・強風で吹き飛ばされないように、家の周りの対策をした。
- ・庭木プランターを固めて置いた。
- ・近所の独居の人に事前に安否確認して、大丈夫と返答を得ていた。
- ・このエリアは地形上水は出なかった。
- ・電柱に枝木が当たっている箇所 (2 軒) については、枝木を切った。
- ・クーラーの室外機をロープで固定した。

(台風 15 号・19 号で、どのような影響があったか)

- ・文庫小第 2 校舎では、排水溝に葉っぱが目詰まりして 2 F から 1 F へ水が流れた。廊下の床板が反りかえった。
- ・体育館の窓からギャラリーに浸水。
- ・普段吹かない海からの風によって、バスケットゴール、鉄棒、ネットの周りが水浸し。
- ・庭の倒木により、車や屋根に被害があった。
- ・飛んだ屋根で雨戸が破損。
- ・マンション窓ガラス、ニックハイムのエレベーターに影響。

(誰かの助けが必要だったか。または必要な人は近くにいたか。)

- ・声掛けも効果があったのか、思ったよりも皆落ち着いていたようだ。
- ・家の中にいたからケガをする人もいなかった。

(災害時の見守りには、どのような取組が必要か。)

- ・称名寺の木の対応が今後必要かと思う。
- ・学校は雨漏りし、避難所にはならない。
- ・ごみ収集中止を事前に連絡網で流したが、早い段階での決定と情報伝達が必要。
- ・災害時連絡網 (メルアドなど) が確立できていた。
- ・高齢者はメールが使えない人もいるため、電話で安否を確認しており、こうした取組が必要。
- ・長寿会の連絡網は今後考える。

【寺前西】

(事前情報から、準備したこと)

- ・水、カップラーメン、養生テープが売っていない、必要なものが買えなかった。
- ・植木鉢を飛ばさないようにした。
- ・物干し竿を留めたりたり、自転車を家の中にしまった。
- ・町内会では特に準備しなかった。

(台風 15 号・19 号で、どのような影響があったか)

- ・ごみ箱が庭の端から端まで動いた。
- ・近所の屋根の一部が飛び散り、車が傷ついた。(風の向きがいつもと違った。)
- ・称名寺の池が増水した。
- ・ガラス窓が割れた。(上から物が飛んできた。) 証拠品がないから保険からお金が出ないと言われた。
- ・寺前公園の木が 7、8 本倒れていた。
- ・トタンの塀が倒れた。(私道通路側に無人の家)

(誰かの助けが必要だったか。または必要な人は近くにいたか。)

- ・風がひどくなったのが夜中だったので、家から出ることは考えなかった。
- ・避難は必要なかった。

(災害時の見守りには、どのような取組が必要か。)

- ・町内会館に水、食糧を備蓄している。
- ・連絡網を作る。
- ・消防団が回る。
- ・寺前西町は安全だと思う。

【柴】

(事前情報から、準備したこと)

- ・船のロープをいつもより多く回しておいた。金沢は避難港、堤防がとても低い。
- ・準備をしようとしたが物資が売り切れていた。
- ・テープを買った。発電機 (3.11 の時購入)、テント、土のう、シートが役に立った。台風 19 号の際はきちんと心構えが出来た。
- ・長靴、雨合羽、車イス、水 (飲料、風呂) の準備。ボールも必要。
- ・今年は土木事務所に依頼し、排水溝の泥を掃除したら水はけが良くなり、良かった。これまでは自治会町内会でやっていたが、やらなくなった。

(台風 15 号・19 号で、どのような影響があったか)

- ・風が強かった。
- ・倒木で枝が折れた。
- ・屋根が飛んだ。
- ・神社が酷かった。
- ・港の船が流され破損した。

(誰かの助けが必要だったか。または必要な人は近くにいたか。)

- ・災害弱者まで考えられなかった。

- ・上の階に住んでいる高齢者をすぐに助けられるように準備していた。
- ・9月3日(火)夕に道路が40cm冠水し、排水が間に合わず消防に連絡し、その後水は収まった。
- ・独居老人が28名いる。民生委員・児童委員と連携して調査中。個人情報問題もあるので情報は未公開。

(災害時の見守りには、どのような取組が必要か。)

- ・全災害の一時(いつとき)避難場所を(柴ファームから)町内会館にしてはどうか。避難場所を災害ごとに決めないことで混乱しないようにする。(どう知らせるかが課題。消防団が周知してくれる。平常時の今から決めておく。役員会議で決める。)
- ・3.11の時、町内会館が開いておらず外で待ち、寒かった。
- ・携帯で連絡を取り合い不安が除けた。
- ・風水害等様々な災害が起きる場所は町に高低差がある。高いところに移動。
- ・夜の訓練したほうが良いのではないか。今は皆が関心あるのではないか。テーマを決めて実施する。

【マリン】

(事前情報から、準備したこと)

- ・台風15号で壊れた天井のプレートを台風19号に備え外した。フェンスは塞ぐより数か所開けた。台風19号の際には風向きが変わり、BC棟のフェンスに被害があった。
- ・ごみ箱を片付けた。
- ・管理棟から放送をかけ物干し竿やベランダの鉢植えをしまうよう案内した。
- ・日頃からイベントを通して顔見知りになる機会を作っている。

(台風15号・19号で、どのような影響があったか)

- ・イルカトンネルの天井が壊れた。
- ・小学校の通学路を変更した。
- ・網戸が外れた。
- ・BC棟のベランダのパーテーションが破れた。
- ・排水溝が詰まり水溜りになった。排水溝の掃除の必要性を住民に伝えた。
- ・排水溝詰まり、(マンション)屋上に水が溜まった。

(災害時の見守りには、どのような取組が必要か。)

- ・網戸が外れないようにする。
- ・停電に備え非常用電源のテストをする。
- ・不安な方には管理棟を案内する。
- ・台風15号の後に防災委員会を開催する。
- ・自助努力の強化が大切であることを伝えた。
- ・避難訓練で備蓄の呼びかけ(水3L、食糧4日分)をする。
- ・安否確認用に玄関にマグネットを貼ることにした。(赤：助けて、青：大丈夫)
- ・高齢者、子どものいる方で援護を必要とする方への援助者を決めた。